

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会
5. 横須賀市政記者クラブ

平成 29 年 11 月 10 日同時配布



平成 29 年 11 月 10 日
国土技術政策総合研究所

国総研講演会を開催 ～今年のマインテーマは生産性革命～

- ・国総研は、12月6日（水）に国総研講演会を開催します。
- ・「生産性革命」をメインテーマとし、シンクタンク・ソフィアバンク 藤沢久美代表による特別講演「生産性革命が未来を拓く -今、なぜ生産性革命なのか-」とともに国総研の研究者によるパネルディスカッションを企画しております。
- ・この他、「防災・減災・危機管理」、「インフラの維持管理」についても“糸魚川市大規模火災の再現検証”や“九州北部豪雨を踏まえた減災の取り組み”など、最前線の研究成果の講演を行います。
- ・先着順による参加申し込みを11月10日より国総研HPで受け付けます。

1. 日時：平成 29 年 12 月 6 日（水）10:15～17:30（開場 9:45）
2. 場所：日本教育会館 一ツ橋ホール（東京都千代田区一ツ橋 2-6-2）
3. プログラム：詳細は別添資料参照
 - ①特別講演（15:00～16:00）
生産性革命が未来を拓く -今、なぜ生産性革命なのか-
藤沢久美 シンクタンク・ソフィアバンク代表
 - ②「生産性革命」に関するパネルディスカッション（13:20～14:50）
 - ③一般講演（10:30～12:20、16:05～17:25）
「防災・減災・危機管理」に関する研究成果発表（10:30～12:20）
「インフラの維持管理」に関する研究成果発表（16:05～17:25）
4. 参加申込み：定員 800 名（申し込み先着順：入場無料）
「国総研」のホームページからお申込みください。
URL) <http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kouenkai/kouenkai2017/kouenkai2017.htm>
5. その他：本講演会は土木学会 CPD プログラム（5.5 単位）に認定されています。
6. 報道機関の皆様へ：
講演会当日に取材を希望される場合は、12月5日（火）午前中までに別紙（FAX 用紙）にてお申し込みください。

【問い合わせ先】

国土交通省国土技術政策総合研究所 企画部 企画課 主任研究官 長屋、研究官 中村
TEL:029-864-7619 FAX:029-864-1527 E-Mail:nil-kouenkai2017@ml.mlit.go.jp

「平成29年度国総研講演会」プログラム

1. 日 時： 平成29年12月6日（水）10：15～17：30
 2. 場 所： 日本教育会館 一ツ橋ホール（東京都千代田区一ツ橋2-6-2）

時間	所属	氏名	タイトル	概要
10:15 ~ 10:25	所長	藤田 光一		開会の挨拶
セッション1「防災・減災・危機管理」				
10:30 ~ 10:50	都市研究部	部長 佐藤 研一	都市防火研究と災害調査 —平成28年糸魚川市大規模火災調査報告—	地震や津波による火災を除く市街地火災として、昭和51年酒田大火以来の規模となった平成28年糸魚川市大規模火災。その現地調査や再現実験・シミュレーション検証等の活動を通じて、国総研の都市防火研究を紹介する。
10:50 ~ 11:10	土砂災害研究部	部長 岡本 敦	九州北部豪雨による土砂災害の特徴と減災に向けた取り組み	本年7月に発生した九州北部豪雨による崩壊・土石流・流木など土砂災害の特徴を整理するとともに、減災に向けた国総研の研究活動を紹介する。
11:10 ~ 11:30	河川研究部	部長 天野 邦彦	水害リスク低減に向けた技術研究開発	水害リスクの低減に向けて国総研で実施している研究の概略について紹介するとともに、水害リスクを低減させるために今後実施しなければならない事項について述べる。
11:30 ~ 11:40	休憩（10分）			
11:40 ~ 12:00	沿岸海洋・防災研究部	部長 吉田 秀樹	沿岸域を高潮から守る研究	地球温暖化の気候変動による海面上昇、台風の大規模化により人口・経済が集中する沿岸域の高潮リスクが高まっている。港湾地帯の安全確保のための研究が重要であり、当部で実施している事項立て研究を中心に報告する。
12:00 ~ 12:20	建築研究部	部長 福山 洋	超高層建築物等の長周期地震動対策 — 設計クライテリアの考え方 —	本年4月1日に施行された、超高層建築物や免震建築物の長周期地震動対策の概要とともに、その技術的な検討の過程で整理された、建築物の構造設計や性能評価における設計クライテリアの考え方について紹介する。
12:20 ~ 13:20	休憩（60分）			
特別セッション「生産性革命」				
13:20 ~ 14:50	<p>「生産性革命」に関するパネルディスカッション コーディネーター：企画部 部長 上坂 克巳 パネリスト：道路交通研究部 部長 喜安 和秀 港湾研究部 部長 藤井 敦 社会資本マネジメント研究センター センター長 和泉 恵之</p>			
14:50 ~ 15:00	休憩（10分）			
15:00 ~ 16:00	シンクタンク・ソフィアバンク	代表 藤沢 久美	特別講演『生産性革命が未来を拓く—今、なぜ生産性革命なのか—』	
16:00 ~ 16:05	休憩（5分）			
セッション2「インフラの維持管理」				
16:05 ~ 16:25	下水道研究部	部長 井上 茂治	下水道管路管理におけるマネジメントサイクルの構築に向けて	下水道管路の点検調査の効率化・高速化のための机上スクリーニング手法の検討や技術開発、維持管理情報の活用等を通じたコストの最適化など、管路マネジメントサイクルの構築の取り組みを紹介する。
16:25 ~ 16:45	空港研究部	部長 石原 弘一	空港舗装の点検技術の高度化に向けた研究	空港の更なる安全確保のため、滑走路等空港舗装の点検作業の精度向上や迅速化が求められる。非破壊計測技術を用いた空港舗装の点検手法、地震後の空港の早期再開のために必要な点検手法に関する取組状況を報告する。
16:45 ~ 17:05	住宅研究部	住宅情報システム研究官 桑沢 保夫	低炭素社会に対応する先進的な省エネルギー型住宅(LCCM住宅)	パリ協定における日本の約束では住宅において大幅な省エネルギーが想定されており、LCCM住宅はこれに対応する先進的な省エネルギー型住宅である。本講演ではLCCM住宅の概念と関連する研究等について概要を紹介する。
17:05 ~ 17:25	道路構造物研究部	部長 木村 嘉富	道路構造物メンテナンスのセカンドステージへ	平成26年度以降、各道路構造物の点検要領を整備し、定期点検が本格化されてきた。今後、メンテナンスのセカンドステージとして、点検や補修を着実に実施していくとともに、新技術の導入等による長寿命化・コスト削減に取り組んでいく必要がある。講演会では道路構造物の維持管理に関する技術基準の概要と、国総研の取り組みや今後の方向性を紹介する。なお、新設橋の技術基準である道路橋示方書についても、耐久性向上の観点を中心に言及する。
17:25 ~ 17:30	副所長	三宅 光一		閉会の挨拶

別紙

国土交通省 国土技術政策総合研究所
企画部 企画課 あて
(FAX 029-864-1168)

「平成 29 年度国総研講演会」の取材を申し込みます。

会社名・所属

氏名

連絡先

※12月5日（火）午前中までにご連絡願います。